

飲食店や商業用ビルのオーナーが 知っておくべきこと

商業施設（飲食店やホテル、学校など）は、下水道に油脂に流れ込まないようにグリース・トラップやグリース阻集器の設置が義務付けられています。

これらの装置に関する必須要件：

- ・ 推定される油脂排水を十分に処理できるように（州の配管規則に基づき）設計されていること
- ・ 適切に設置されていること（水平な設置、隔板での排出、流量制御、吸気）
- ・ 定期的なメンテナンス（頻繁な保守サービスと月1回の清掃）
- ・ 食器やポットなどを洗った後の排水が流れ込む設備に接続されているか、調理エリア（床排水）に位置していること

マサチューセッツ水資源局 (MWRA) 及びケンブリッジ市の規制

- ・ 飲食店から排出される脂、油、油脂 (FOG) の量については、いかなる時でも 1リットル当たり300ミリグラム を超えてはならない
- ・ 排水桝に洗浄水を流し込むことは禁止
- ・ グリース・トラップに化学薬品を使用することは禁止（注：バクテリアなど、油脂を分解する生物剤については、MWRA が 書面によって 事前に承認した場合に許可される）

化学製品と添加剤には注意！
（酵素、乳化剤、洗剤なども含む）

これら製品の中には、油脂を分解するとされているものもありますが、ただ単に油脂を排水管から流し出すだけであり、そのため市の下水道で逆流を引き起こし、多大な損害を招く恐れがあります。

CAMBRIDGE
DEPARTMENT
OF PUBLIC
WORKS

追加情報



ケンブリッジ市
土木局 (Department of Public Works)
147 Hampshire Street
Cambridge, MA 02139



電話: (617) 349-4800 ファックス: (617) 349-4868



www.CambridgeMA.gov/theworks/FOG

ケンブリッジ市の下水道から油脂をなくす取組にご協力ください！

排水詰まりを防止
FOG をリサイクル
(脂、油、油脂)



冷ます



回収する



リサイクルする

WWW.CAMBRIDGEMA.GOV/THEWORKS/FOG

質問がありますか？

次の番号にお電話ください：617-349-4800

このパンフレットは、水環境連盟 (WEF) と米国環境保護庁 (Stock #HP 1902) の間で交わされた連携協定アシスタンス (Cooperative Agreement Assistance) #CX824505-01-0 の「ファットフリーの下水道」パンフレットを翻案したものである。著作権 © 1999 Water Environment Federation. 8/02.

ファットフリーの 下水道

脂、油、油脂のよってあなたの事業に損害が生じることを防ぐ方法



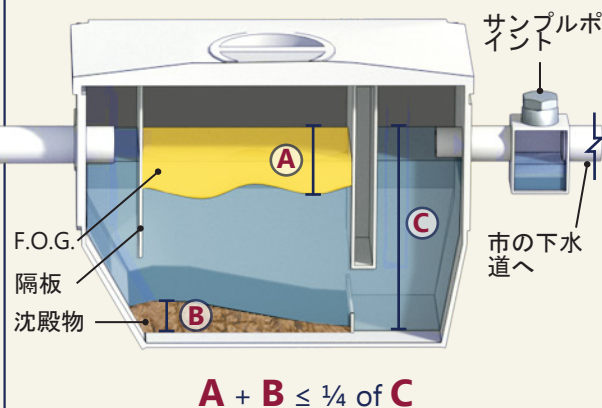
ケンブリッジ市
2017

調理中、FOGは熱い上、液状になっており、簡単に下水管に流れ落ちます。そして、FOGは冷えると固まるので、水が配管用パイプを流れないようになることもあります。

排水詰まりを防止 FOGをリサイクル (脂、油、油脂)



グリース・トラップ阻集器



グリース・トラップの「25%ルール」

に従ってください：

グリース・トラップにおける油と浮上油脂の塊(A)と沈殿物(B)を合わせた深さは、水深(C)の4分の1を超えないようにする。

下水道の詰まりによって、次のような事態が生じます：

- 下水が住宅や道路、水路に逆流し、環境汚染を引き起こします
- 病原生物に接触してしまう可能性があります
- 清掃費や修理費が高額になるだけでなく、不便さが生じます
- 土木局の運営コストが上昇し、下水料金の値上げにつながります
- 悪臭や不快臭が発生します

グリース・トラップが確実に正しく機能するようにする

- グリース・トラップが確実に正しく機能するように、毎月その清掃を行いましょう
- 溜まった油脂の厚さを全部合わせても水深の25%を超えないレベルに維持すれば、油脂が下水道システムに流れ込むのを防げます
- 事業者はグリース・トラップについて、最新式のメンテナンスを行い、また清掃のスケジュールの記録をつけるべきです

FOGに関して、してよいこと、してはいけないこと！

油脂の問題を解決し、下水の氾濫防止に役立つ最も簡単な方法は、FOGを下水道に入れないことです

冷めた油や油脂を容器に流し込み、それからリサイクルしましょう



油や油脂を流しの排水溝やトイレに流してはいけません

ポットやフライパン、食器、調理台についた油や油脂はふきとりましょう



揚げ鍋やポット、フライパン、食器は、油や油脂が取り除かれるまで水洗いしてはいけません

流しの排水口にゴミ受けバスケットやろ過器を設置して、生ごみをキャッチしましょう。そして、生ごみはゴミ箱（あるいは堆肥場）に捨てましょう



生ごみを流しの排水溝に捨ててはいけません



生ごみはゴミ箱（あるいは堆肥場）に捨てましょう

質問がありますか？

次の番号にお電話ください：(617) 349-4800